

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【文部科学省】

施策番号	24020	施策名		イノベーションシステム整備事業(イノベーション成長戦略実現支援プログラム)			
新規／継続	新規	領域	イノベーション創出	国際的位置付け	—	AP施策	
競争的資金		e-Rad		社会還元			
施策の目的及び概要	地域の大学等研究機関の地域貢献機能の強化により、大学等研究機関の研究成果を地域の活性化につなげるため、地域イノベーションの創出に向けた主体的かつ優れた構想に対して、大学等の研究段階から事業化に至るまでシームレスに展開できるように、関係府省の施策を総動員して支援するシステムを構築する。 そのうち、文部科学省では、地域の大学等研究機関の連携による地域貢献機能の強化を図るため、ソフト・ヒューマン(研究者の集積、人材育成プログラムの開発、技術シーズの利活用促進等)に対する重点的な支援を実施。						
達成目標及び達成期限	平成32年度までに、地域の大学等研究機関の地域貢献機能の強化により、大学等研究機関の研究成果を活用した新事業創出・新産業創出等の地域活性化につなげる(経済効果9,000億円、雇用創出5.6万人)。						
研究開発目標及び達成期限							
23年度の研究開発目標							
施策の重要性	第四期科学技術基本計画策定に向けて、本年六月に総合科学技術会議基本政策専門調査会にてとりまとめられた「科学技術基本政策策定の基本方針」において、イノベーションの創出を促す新たな仕組みとして、知のネットワーク強化のための体制整備や、地域の特性を活かしたイノベーションの推進といった取組を進めることとされており、国として積極的に推進していくことが必要である。 本施策は、新成長戦略で「産学連携など大学・研究機関における研究成果を地域の活性化につなげる取組を進める」とされたことを踏まえ、その実現に向けて、地域の大学等研究機関の連携による地域貢献機能の強化を図るものであることから、非常に重要である。						
実施体制	各地域は、ミッションを共有し、地域戦略を実効的に推進するため、地域において自治体、企業、大学、公設試験研究機関、イノベーション推進機関等をメンバーとする協議会等を設置し、地域イノベーション創出のための戦略をまとめる。 関係府省は、地域イノベーション創出に向けた主体的かつ優れた構想に対して施策の総動員を行う。そのうち、文科省は、ソフト・ヒューマンに関する各支援メニューを提供。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
—				2,000			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)							
H23概算要求額の内訳	【支援メニューの内訳】 ・研究者集積:1,000 ・人材育成プログラム:400 ・知のネットワーク構築:240 ・研究設備共用化:300 ・技術シーズの利活用:60						
期間	H23～H32			資金投入規模(億円)		1,030	
これまでの							

成果 (継続のみ)			
社会情勢・ 技術の変化(継続のみ)			
昨年度優先度判定 (継続のみ)		優先度判定時の指摘 への対応(継続のみ)	
国民との科学・技術対 話推進への対応(対象 施策のみ)			